

平成27年2月9日

関係各位

公益財団法人 発達科学研究教育センター
理事長 新庄 茂方

平成27年度「発達科学研究教育奨励賞」の募集

公益財団法人 発達科学研究教育センター では若手研究者を対象とした平成27年度の研究助成事業である「発達科学研究教育奨励賞」を下記要領で募集致します。

対象となる研究テーマ

- ・「幼少期の子どもの可能性を引き出し、心身の調和のとれた発達をはかること」を主たる研究テーマとするもの。

応募資格

- ・日本国内の研究機関に属する個人、または数人の共同研究。
- ・平成27年4月1日現在40歳以下で、准教授職以下の方。
- ・所属研究機関の代表者または指導教授の推薦が必要です。

研究助成金

- ・1件当たり50万円を上限。10件位を予定。

募集期間

- ・平成27年4月1日（水）～平成27年6月1日（月）

応募必要書類

- ・研究計画書、推薦書など。
(詳細は、本財団ホームページ(<http://www.coder.or.jp>)をご参照下さい。)

参考（平成26年度受賞の研究テーマ：15件）

- ・ 18カ月児の攻撃性発露メカニズムの解明：
大規模出生コホートに基づく検討
- ・ 動機づけ調整による児童の自律的な家庭学習プロセスの解明
- ・ 長期休暇中における子どもの時間管理能力の発達支援：
時間管理タイプと学業成績・認知的能力
- ・ 児童期の攻撃性の構造関係と感情処理過程との関連についての基礎的調査研究
- ・ 幼児期の言語的柔軟性と実行機能及び心の理論の関係
- ・ ロボットを用いた ASD 児の共同注視への介入効果についての予備的研究
- ・ 児童・生徒のネットいじめにおける “witness” の検討
- ・ 自閉症スペクトラム障害者の脳機能の発達：
fMRI による顔認知研究
- ・ 他者との相互作用を考慮した幼児の造形表現プロセスの検討
- ・ ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の使用が思春期の痩せ願望に与える影響：
思春期コホートによる縦断的検討
- ・ 発達に困難を抱える子どもの非行（虞犯・触法・犯罪）の実態と支援の課題
—少年鑑別所・少年院の職員への全国調査から—
- ・ マザリーズによる乳幼児の言語発達促進効果に関する縦断的研究
- ・ 定型・非定型発達児を対象とした他者視点取得に関する神経基盤の解明
- ・ 発育期のうま味摂取による情動形成メカニズム
—注意欠陥多動性障害モデルラットにおける社会性亢進の脳内機構の解明—
- ・ 乳幼児におけるカテゴリーカル色知覚の脳内処理の発達と異文化比較

以上